

各関係機関団体の長  
各病害虫防除員

} 殿

福岡県農林業総合試験場長  
(福岡県病害虫防除所)

令和 6 年度病害虫発生予察速報第 1 号について (送付)

このことについて、病害虫発生予察速報第 1 号 (イネ縞葉枯病) を発表したので送付します。

ヒメトビウンカのイネ縞葉枯病ウイルス保毒虫率は、近年低下傾向にあります。今後のヒメトビウンカの発生量によっては、発病が多くなる可能性がありますので、適切な防除指導をお願いします。

速報第 1 号

1 対象作物：水稲

2 病害虫名：イネ縞葉枯病

3 発生地域：県下全域

4 速報の根拠

令和 6 年 5 月に県内 15 地点の小麦ほ場でヒメトビウンカの第 1 世代幼虫を採集し、イネ縞葉枯病ウイルス保毒虫率を簡易エライザ法で検定した。その結果、保毒虫率は平均 0.3% と低い水準であった (図、表)。



図 ヒメトビウンカのイネ縞葉枯病ウイルス保毒虫率の推移  
(検定対象: 15 地点の小麦ほ場で採集した第一世代幼虫)

表 検定地点別のイネ縞葉枯病ウイルス保毒虫率及び保毒虫確認ほ場率

検定地点	検定虫数 (頭)	保毒虫数 (頭)	保毒虫率 (%)
筑紫野市山家	78	0	0
宗像市朝町	94	0	0
糸島市二丈松末	94	0	0
久留米市宮ノ陣町	94	1	1.1
小郡市力武	94	0	0
うきは市浮羽町山北	94	0	0
朝倉市馬田	94	0	0
筑前町栗田	94	0	0
嘉麻市中益	94	2	2.1
糸田町兎ヶ池	94	0	0
柳川市大浜町	94	0	0
柳川市三橋町	94	0	0
筑後市若菜	94	0	0
大川市諸富	94	0	0
築上町椎田	94	1	1.1
平均保毒虫率 (%)			<b>0.3</b>
保毒虫確認ほ場率 (%)			<b>20.0</b>

5 防除上注意すべき事項

5月下旬～6月上旬移植のほ場では、今後のヒメトビウンカの発生に注意し、発生が多い場合や前年度イネ縞葉枯病が多発した地域では、本田での薬剤防除を実施する。

病害虫防除所のホームページでは、各種病害虫の発生状況を随時更新しています。  
発生状況の把握や防除の参考にご活用下さい。

○福岡県病害虫防除所のホームページへのアクセス

URL: <https://www.jppn.ne.jp/fukuoka/> または右 QR コード①

○X (旧 Twitter) で定期情報や警報等発出のお知らせを始めました。

X (旧 Twitter) の本アカウント (福岡県農作物病害虫情報) へのアクセス

URL: [https://twitter.com/PPDPO\\_Fukuoka](https://twitter.com/PPDPO_Fukuoka) または右 QR コード②



最新の病害虫発生状況

